NTT東日本

おまかせクラウドアップセキュリティ

Microsoft 365
アクティベーション手順

東日本電信電話株式会社

変更履歴

年月	版	変更内容等
2021年08月25日	第1.0版	初版制定
2021年09月10日	第1.1版	情報ラベル、商標についての資料の追加
2021年11月08日	第1.2版	通し番号の修正
2021年11月19日	第1.3版	Teams設定時の手順の修正
2022年04月05日	第1.4版	API連携時にエラーになった場合に再度実行を行う旨を記載
2022年05月11日	第1.5版	一部文言の修正
2022年06月21日	第1.6版	表紙記載の組織名を変更
2022年08月25日	第1.7版	Teams設定時注意について注釈を記載
2022年08月29日	第1.8版	Microsoft Information Protection (MIP)している場合の対応を記載
2022年12月12日	第1.9版	事前準備完了の文言ページに他手順への誘導文面記載
2023年02月09日	第2.0版	UI変更に伴い文言、画像修正
2023年02月27日	第2.1版	ヘルプサイトURL変更などに伴い表記変更
2024年05月01日	第3.0版	新規管理コンソール画面仕様に差し替え

事前準備

おまかせクラウドアップセキュリティの管理コンソール画面にログインするための準備を行います。

事前に管理コンソール画面にログインする際のパスワードを設定します。

事前準備（１）

1.事前準備

・開通メール「**件名：新規アカウント発行のお知らせ**」
・各クラウドアプリケーションの管理者のメールアドレス及び管理者パスワード

2.パスワード設定

2021/01/27 (水) 20:09
PLX_account_support_MailBox@trendmicro.co.jp
新規アカウント発行のお知らせ
宛先 [redacted]

[redacted]
＊ ＊様

Liecensing Management Platform ログイン用のユーザアカウントを発行致しました。次の URL からログインできます。
https://clp.trendmicro.com/Dashboard?T=kjfSy

アカウントの詳細:
会社名:[redacted]
アカウント名:[redacted]

ログイン用のパスワードを設定する必要があります。次の URL からパスワードを設定してください。なお、この URL は 7 日間のみ有効です。
① https://forgetpwd.trendmicro.com/ForgetPassword/ResetPassword?T=kjfSy&v=8abc15e1-d6e9-4250-8d9d-3c985a6588f7

ご不明な点がございましたら、次の連絡先にお問い合わせください。

トレンドマイクロ株式会社
http://esupport.trendmicro.co.jp/corporate/default.aspx?gnv=sb_support&Homeclick=gnv_sb_support&cm_re=Corp-_-gnv-_-sb_support
03-5334-3601

①URLを押下します。
※**有効期限は7日間**です。

②任意のパスワードを設定します。

アクティベーション方法

事前準備が完了しました。

次に、おまかせクラウドアップセキュリティとお客様でお申し込みいただいたクラウドアプリケーションの紐づけ作業を行います。

※本項目の設定のみではおまかせCASの機能は動作しません。

必ず以下の別紙の設定も実施いただくようお願いいたします。

・【ポリシー設定】高度な脅威対策設定手順

・【ポリシー設定】情報漏えい対策設定手順

アクティベーション方法（１）

1. コンソール画面ログイン

提供されたアカウントとパスワードを入力して「**ログイン**」を押下します。
※アカウントは開通メールに記載されております。
※パスワードはP4にて設定したものになります。
※ブラウザはGoogleChromeを推奨しています。

①左図画面が表示された場合のみ、
「**2要素認証設定を行う**」を押下します。
※設定方法は「二要素認証設定マニュアル」をご参照ください。

②「**OK**」を押下します。

アクティベーション方法（２）

③「**コンソールを開く**」を押下します。

④「**同意する**」を押下します。

⑤「**閉じる**」を押下します。

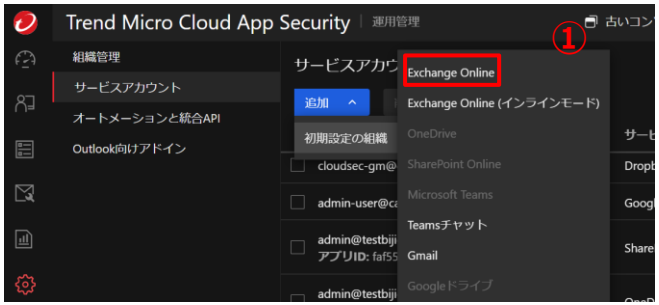
アクティベーション方法（３）

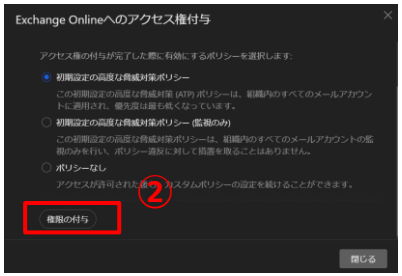
コンソール画面にログインできていることを確認します。

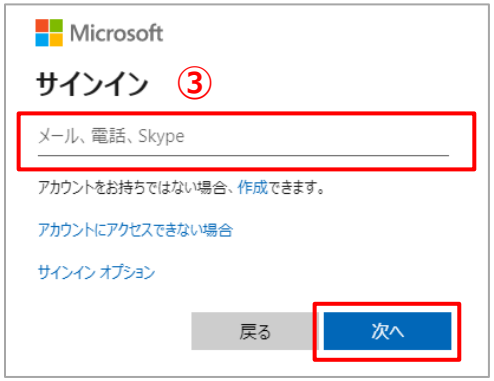
⑥「**運用管理**」の中の「**サービスアカウント**」を押下します。

API連携－Exchange Online（１）

２．アクティベーション







①初期ログイン時は左記画面が表示されます。
表示されない場合には、管理コンソール上部の「**運用管理**」⇒「**サービスアカウント**」を選択し押下します。

「**追加**」⇒「**初期設定の組織**」⇒「**Exchange Online**」を押下します。
※他MS365サービス連携・同期中は実施できませんので完了まで待機します。

②必要に応じて有効にするポリシーの選択し、「**権限の付与**」を押下します。

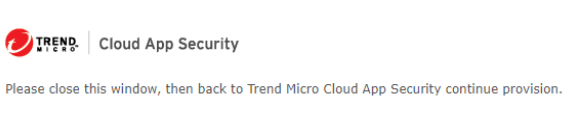
画面に従い、Microsoft365の管理者のメールアドレス及び管理者パスワードを入力します。

③Microsoft365のサインイン画面で管理者のメールアドレス（もしくは電話番号、スカイプ名）を入力し、「**次へ**」を押下します。

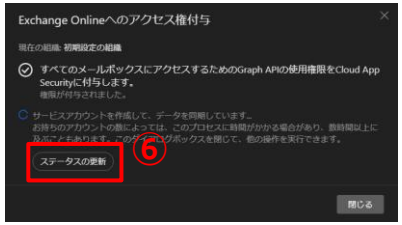
④画面に従い、Microsoft365の管理者パスワードを入力し「**サインイン**」を押下します。
※他アプリで入力した場合、不要の場合があります。

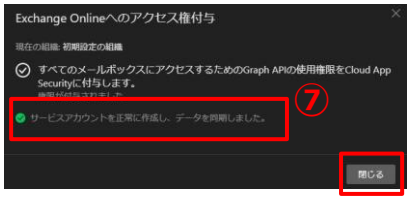
API連携－Exchange Online（２）

⑤アクセス許可の確認画面が表示されるため「**承諾**」を押下します。



左の画面「**Please close this window, then back to Trend Micro Cloud App Security continue provision.**」と表示されたら、タブを閉じます





⑥「**ステータスの更新**」を押下し、⑦の様に表示されたら、「**閉じる**」を押下します。

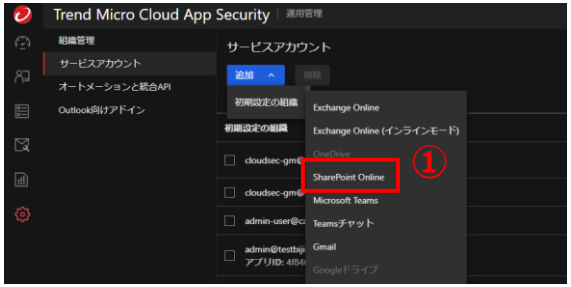
これで、**Exchange Online**との同期設定は完了です。

※正常に同期が行われずエラーメッセージ等が表示された場合、通信環境の問題やタイムアウトの可能性がありますので右上「×」を押下して一度連携画面を閉じてWebページをリロードし再度お試しください。(2~3回程度で成功することが多いです)

初期設定時には、Microsoft 365側の情報を同期する動作が行われます。ライセンス数が多い場合（例：10,000ユーザ以上）には、設定が終了するまでに３～４時間程度かかる場合があります。

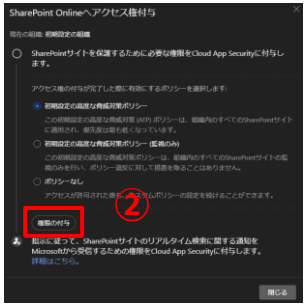
API連携－SharePoint Online（１）

２．アクティベーション



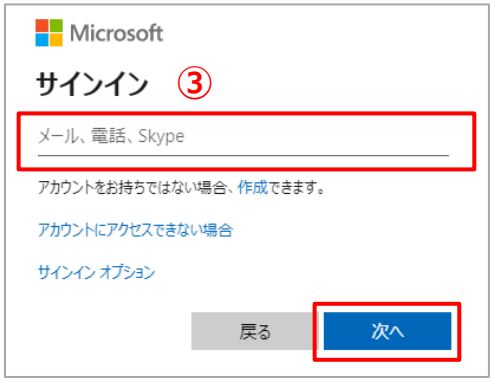
①初期ログイン時は左記画面が表示されます。
表示されない場合には、管理コンソール上部の「**運用管理**」⇒「**サービスアカウント**」を選択し押下します。

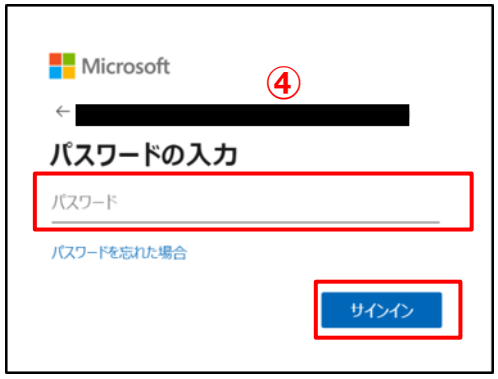
「**追加**」⇒「**初期設定の組織**」⇒「**SharePoint Online**」を押下します。
※他MS365サービス連携・同期中は実施できませんので完了まで待機します。



②必要に応じて有効にするポリシーの選択し、「**権限の付与**」を押下します。

　画面に従い、Microsoft365の管理者のメールアドレス及び管理者パスワードを入力します。



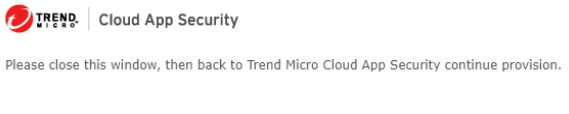


③Microsoft365のサインイン画面で管理者のメールアドレス（もしくは電話番号、スカイプ名）を入力し、「**次へ**」を押下します。

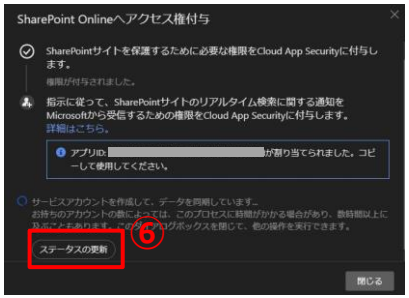
④画面に従い、Microsoft365の管理者パスワードを入力し「**サインイン**」を押下します。
※他アプリで入力した場合、不要の場合があります。

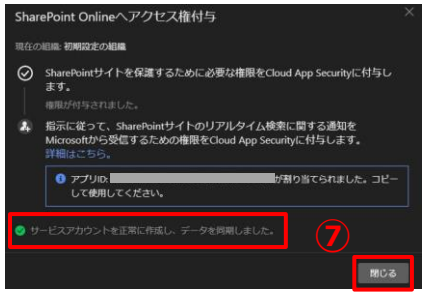
API連携－SharePoint Online（２）

⑤アクセス許可の確認画面が表示されるため「**承諾**」を押下します。



左の画面「**Please close this window, then back to Trend Micro Cloud App Security continue provision.**」と表示されたら、タブを閉じます





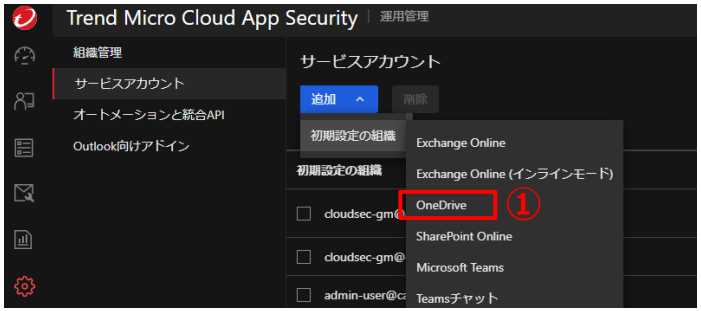
⑥「**ステータスの更新**」を押下し、⑦の様に表示されたら、「**閉じる**」を押下します。

これで、**SharePoint Online**との同期設定は完了です。

※正常に同期が行われずエラーメッセージ等が表示された場合、通信環境の問題やタイムアウトの可能性がありますので右上「×」を押下して一度連携画面を閉じてWebページをリロードし再度お試しください。(2~3回程度で成功することが多いです)

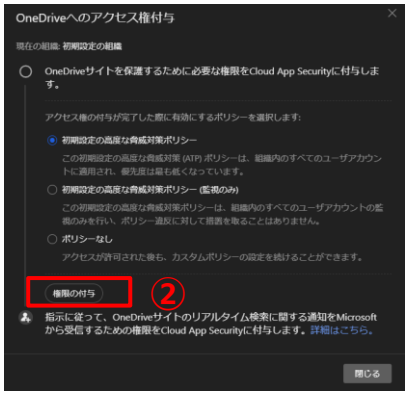
初期設定時には、Microsoft 365側の情報を同期する動作が行われます。ライセンス数が多い場合（例：10,000ユーザ以上）には、設定が終了するまでに３～４時間程度かかる場合があります。

API連携－OneDrive（１）



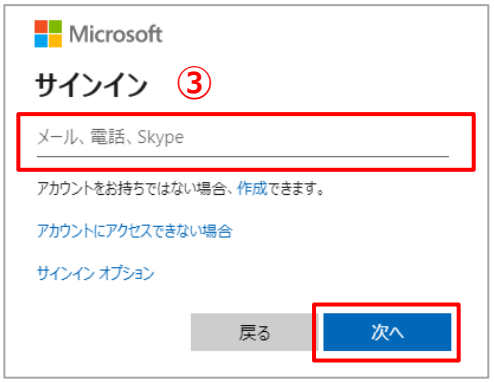
①初期ログイン時は左記画面が表示されます。
表示されない場合には、管理コンソール上部の「**運用管理**」⇒「**サービスアカウント**」を選択し押下します。

「**追加**」⇒「**初期設定の組織**」⇒「**OneDrive**」を選択し押下します。
※他MS365サービス連携・同期中は実施できませんので完了まで待機します。

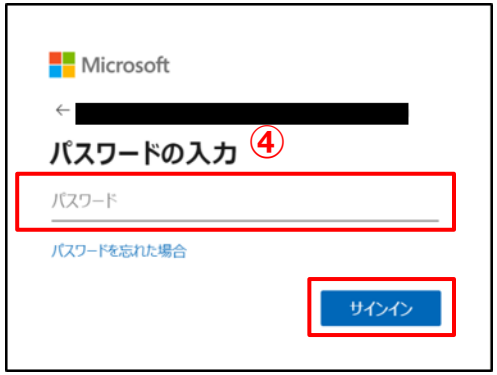


②必要に応じて有効にするポリシーの選択し、「**権限の付与**」を押下します。

　画面に従い、Microsoft365の管理者のメールアドレス及び管理者パスワードを入力します。



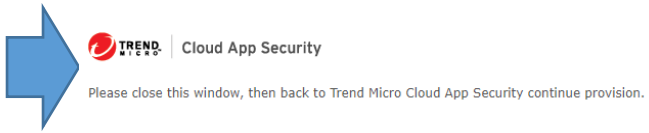
③Microsoft365のサインイン画面で管理者のメールアドレス（もしくは電話番号、スカイプ名）を入力し、「**次へ**」を押下します。



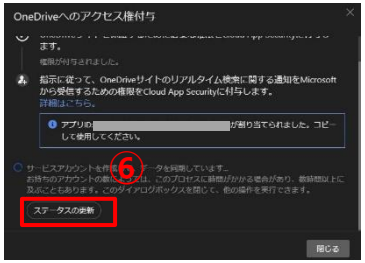
④画面に従い、Microsoft365の管理者パスワードを入力し「**サインイン**」を押下します。
※他アプリで入力した場合、不要の場合があります。

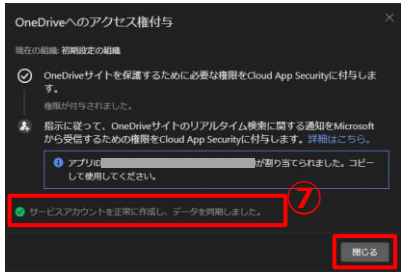
API連携－OneDrive（２）

⑤アクセス許可の確認画面が表示されるため「**承諾**」を押下します。



左の画面「**Please close this window, then back to Trend Micro Cloud App Security continue provision.**」と表示されたら、タブを閉じます





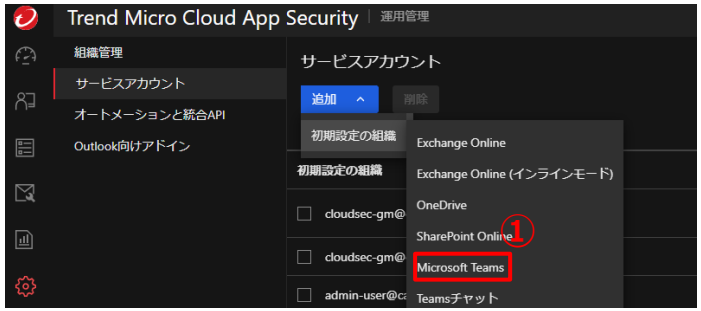
⑥「**ステータスの更新**」を押下し、⑦の様に表示されたら、「**閉じる**」を押下します。

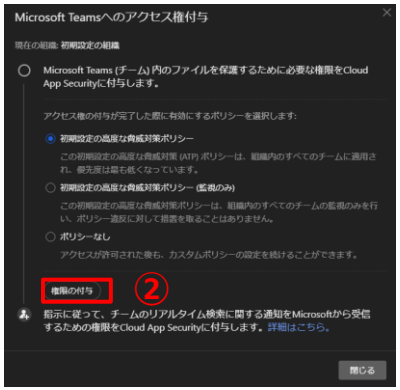
これで、**OneDrive**との同期設定は完了です。

※正常に同期が行われずエラーメッセージ等が表示された場合、通信環境の問題やタイムアウトの可能性がありますので右上「×」を押下して一度連携画面を閉じてWebページをリロードし再度お試しください。(2~3回程度で成功することが多いです)

初期設定時には、Microsoft 365側の情報を同期する動作が行われます。ライセンス数が多い場合（例：10,000ユーザ以上）には、設定が終了するまでに３～４時間程度かかる場合があります。

API連携－Microsoft Teams（１） «CAS側の設定»



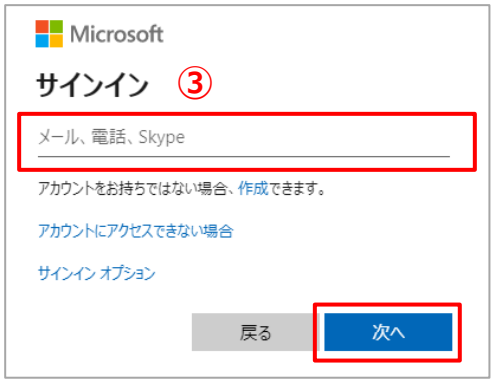


①初期ログイン時は左記画面が表示されます。
表示されない場合には、管理コンソール上部の「**運用管理**」⇒「**サービスアカウント**」を選択し押下します。

「**追加**」⇒「**初期設定の組織**」⇒「**Microsoft Teams**」を押下します。
※「Teamsチャット」はMicrosoft社のライセンス要件で追加請求が発生する可能性があるため選択しないでください。
※他MS365サービス連携・同期中は実施できませんので完了まで待機します。

②必要に応じて有効にするポリシーの選択し、「**権限の付与**」を押下します。

画面に従い、Microsoft365の管理者のメールアドレス及び管理者パスワードを入力します。



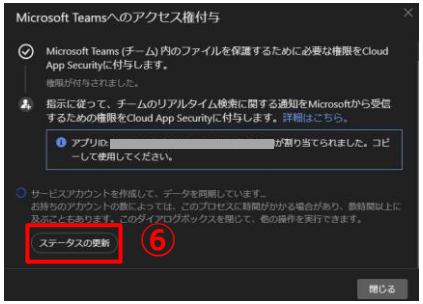
③Microsoft365のサインイン画面で管理者のメールアドレス（もしくは電話番号、スカイプ名）を入力し、「**次へ**」を押下します。

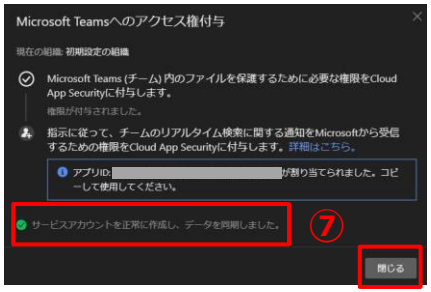
④画面に従い、Microsoft365の管理者パスワードを入力し「**サインイン**」を押下します。
※他アプリで入力した場合、不要の場合があります。

API連携－Microsoft Teams（２） «CAS側の設定»

⑤アクセス許可の確認画面が表示されるため「**承諾**」を押下します。

左の画面「**Please close this window, then back to Trend Micro Cloud App Security continue provision.**」と表示されたら、タブを閉じます





⑥「**ステータスの更新**」を押下し、⑦の様に表示されたら、「**閉じる**」を押下します。

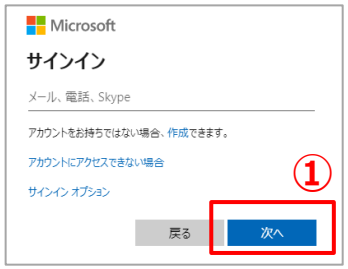
これで、**Microsoft Teams**との同期設定は完了です。

※正常に同期が行われずエラーメッセージ等が表示された場合、通信環境の問題やタイムアウトの可能性がありますので右上「**×**」を押下して一度連携画面を閉じてWebページをリロードし再度お試しください。(2~3回程度で成功することが多いです)

左図の時点ではまだ「完了」は押下しないでください。

初期設定時には、Microsoft 365側の情報を同期する動作が行われます。ライセンス数が多い場合（例：10,000ユーザ以上）には、設定が終了するまでに３～４時間程度かかる場合があります。

API連携－Microsoft Teams（３） «MS365側の設定-1»



①新しいタブで
Office365に管理者のメールアドレス及び管理者パスワードでログインします。

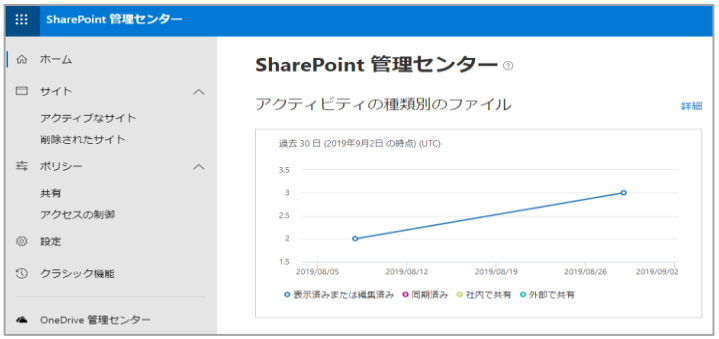
Microsoft 365 管理画面 URL
https://login.microsoftonline.com/

②ログイン完了後、ホーム画面で「**管理**」アイコンを押下します。
※表示がない場合「**すべて表示**」で表示します。

③「**SharePoint**」を押下します。
Teamsの項目ですが、SharePoint項目にて設定を行います。
※表示がない場合「**すべて表示**」で表示します。

API連携－Microsoft Teams（４） «MS365側の設定-2»

④



④Share Point管理センター画面に切り替わります。

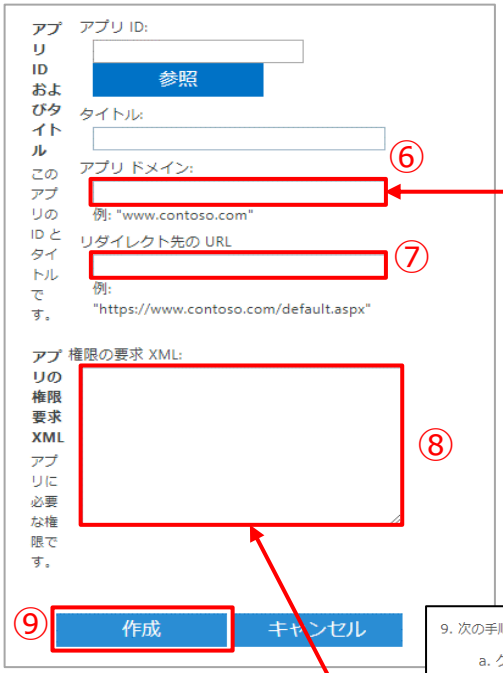
ブラウザのアドレスバーでSharePoint管理センターのURLを「**{SharePoint管理サイト}/_layouts/15/AppInv.aspx**」に変更します。

例：
「**https://example.sharepoint.com/_layouts/15/online/AdminHome.aspx#/home**」
を以下のように変更します。
「**https://example.sharepoint.com/_layouts/15/AppInv.aspx**」

URLアクセス後、アプリケーションへの権限登録画面が表示されます。

⑤ 前工程⑩で表示されたアプリID（サービスアカウント画面にも記載あり）を入力します。
タイトルは、アプリIDを入力してから「**参照**」を押すと自動反映されます。

API連携－Microsoft Teams（５） «MS365側の設定-3»



⑥アプリドメイン欄に **tmcas.trendmicro.com** を入力します。

⑦リダイレクト先のURL欄に**https://admin.tmcas.trendmicro.co.jp/provision.html** を入力します。

⑧権限の要求 XML欄に下記を入力します。

```
<AppPermissionRequests AllowAppOnlyPolicy="true">
<AppPermissionRequest Scope="http://sharepoint/content/tenant" Right="Manage" />
</AppPermissionRequests>
```

⑨作成を選択し押下します。

↓手順⑩で開いたトレンドマイクロ社ヘルプページから赤枠内を矢印の先へコピー貼り付け。

9. 次の手順を実行して、チームのファイルが変更された際にMicrosoftから通知を受信するための権限をCloud App Securityに付与します。

   a. グローバル管理者アカウントを使用してMicrosoft 365管理センターにサインインします。

   b. 左側のナビゲーションで、**[管理センター]** > **[SharePoint]** の順に選択します。
   [SharePoint 管理センター] 画面が表示されます。

   c. アドレスバーで、SharePoint管理センターのURLを「`{SharePoint管理サイト}/_layouts/15/AppInv.aspx`」に変更します。たとえば、「`https://example-admin.sharepoint.com/_layouts/15/online/AdminHome.aspx#/home`」を「`https://example-admin.sharepoint.com/_layouts/15/AppInv.aspx`」に変更し、URLを開きます。

   d. 表示される画面で、手順8で割り当てられたアプリIDを **[アプリ ID]** に貼り付け、**[参照]** をクリックします。
   [タイトル] が自動的に入力されます。

   e. 「`tmcas.trendmicro.com`」をコピーして **[アプリ ドメイン]** に貼り付けます。

   f. **[リダイレクト先のURL]** に「`{Cloud App Security_admin_site}/provision.html`」と入力します。「{Cloud App Security_admin_site}」は、ご使用のサイトに基づいて指定してください。
   たとえば、ログオン後にアドレスバーに表示されるCloud App Security管理コンソールのURLが「https://admin-eu.tmcas.trendmicro.com」であれば、**[リダイレクト先のURL]** に「`https://admin-eu.tmcas.trendmicro.com/provision.html`」と入力します。

   g. **[権限の要求 XML]** に、次の情報をコピーして貼り付けます。

```
<AppPermissionRequests AllowAppOnlyPolicy="true">
<AppPermissionRequest Scope="http://sharepoint/content/tenant" Right="Manage" />
</AppPermissionRequests>
```

   h. **[作成]** をクリックし、表示される画面で **[信頼する]** をクリックします。
   [SharePoint 管理センター] 画面が表示されます。

   i. SharePoint管理センターのURLを「`{SharePoint管理サイト}/_layouts/15/TA_AllAppPrincipals.aspx`」に変更し、URLを開いて権限を確認します。
   [Trend Micro Cloud App Security] の項目が表示されていれば、権限は正常に付与されています。

10. Cloud App Security管理コンソールに戻り、**[完了]** をクリックします。
    Cloud App Securityにより、組織のチームのデータが更新されます。所要時間はチームのデータ量に応じて異なります。

11. 管理コンソールの右上隅にあるベルアイコンの上にマウスを重ねます。
    [通知] 画面に「Microsoft Teamsは保護されています。」というメッセージが表示されたら、アカウントの準備は終了です。

API連携－Microsoft Teams（６） «MS365側の設定-4»

⑩前頁の手順⑰で作成を押下すると、下図のような画面が表示されます。
「**信頼する**」を選択し押下します。

SharePoint管理センターの画面に戻ったら、
SharePoint管理センターのURLを
「**{SharePoint管理サイト}/_layouts/15/appprincipals.aspx**」
に変更し、URLを開いて権限を確認します。
左図の通り、「**Trend Micro Cloud App Security**」の項目が表示されていれば、
権限は正常に付与されています。

おまかせCASの管理コンソールへ戻り、「**完了**」を押下します。

これで、Microsoft Teamsとの同期設定は完了です。

（参考-1）Microsoft Teams «MS365側の設定»

①オンラインヘルプセンタへアクセスします。

・コンソールからアクセス（下図参照）
1.「**はじめに**」にある「**オンラインヘルプの表示**」リンクをクリック。
2.「**はじめに**」部分がない場合、右上「**？**」アイコンにカーソルをあわせた後、「**よくある質問**」をクリック。

①-1
「**オンラインヘルプ**」を選択し押下します。

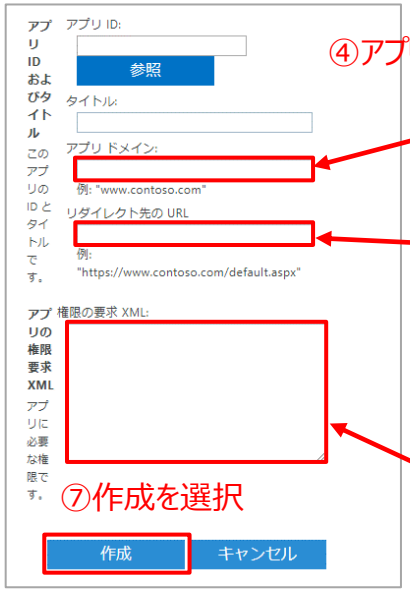
①-2
「**Office 365サービス用アカウントの準備**」を選択し押下します。

①-3
「**Microsoft　Teams用サービスアカウントの準備**」を選択し押下します。

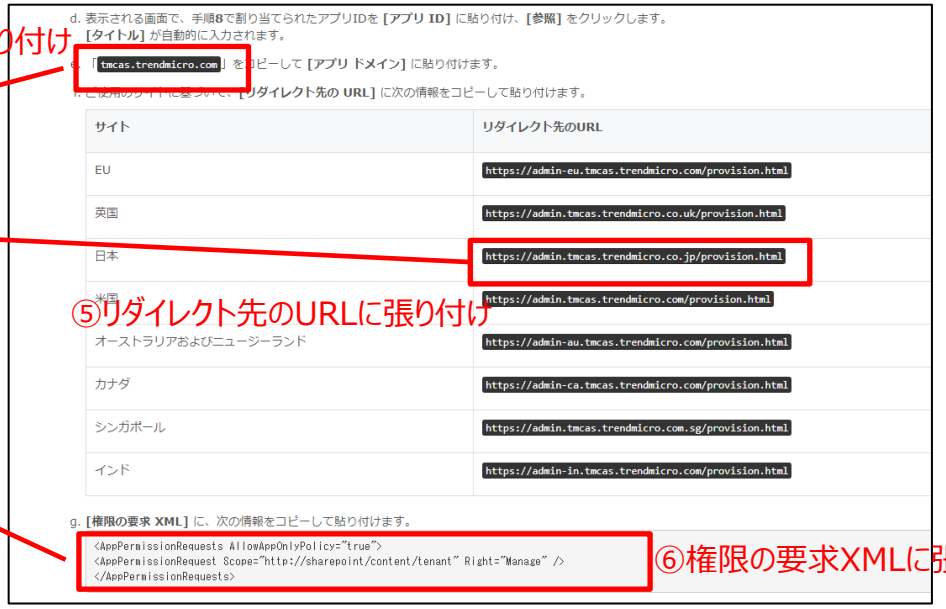
（参考-2）Microsoft Teams «MS365側の設定»

② ①でいずれかの方法で進むと
「**Microsoft Teams用サービスアカウントの準備**」の画面に進みます。
この中から必要な情報をアプリケーションへの権限登録画面に入力します。

③　アプリケーションへの権限登録画面に以下を入力します。
④を「**アプリドメイン**」に入力します。
⑤を「**リダイレクト先のURL**」に入力します。
⑥を「**権限の要求XML**」に入力します。



④アプリドメインに貼り付け



⑤リダイレクト先のURLに張り付け

⑥権限の要求XMLに張り付け

⑦作成を選択

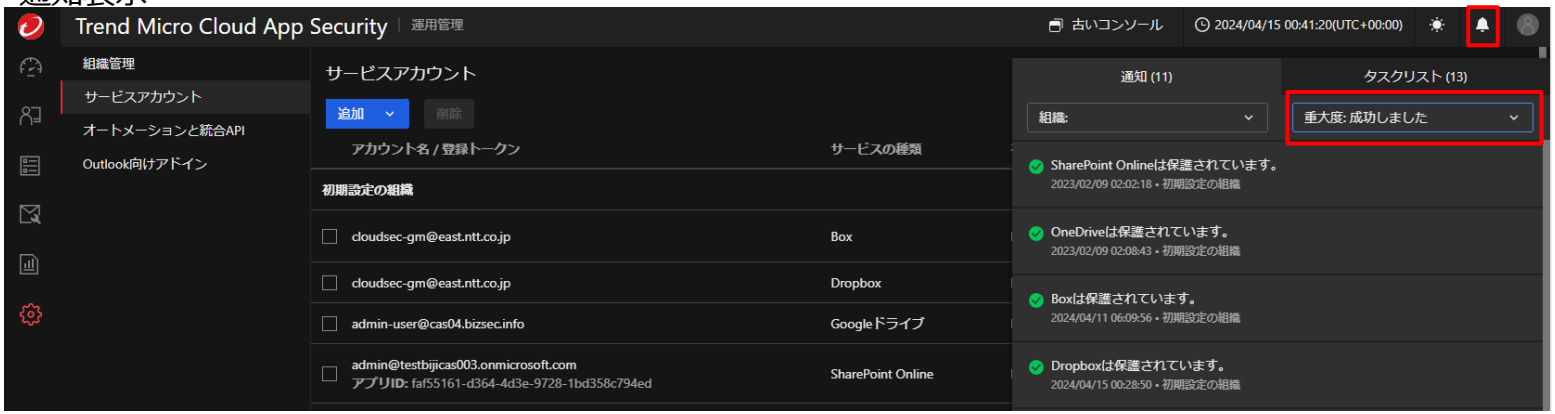
⑦「作成を選択」を押下します。

アプリドメイン欄に **tmcas.trendmicro.com**　を貼り付け
リダイレクト先のURL欄に**https://admin.tmcas.trendmicro.co.jp/provision.html**　を貼り付け
権限の要求 XML欄に下記を貼り付けます。
<AppPermissionRequests AllowAppOnlyPolicy="true">
<AppPermissionRequest Scope="http://sharepoint/content/tenant" Right="Manage" />
</AppPermissionRequests>

API連携の完了画面

タスクリスト表示

通知表示



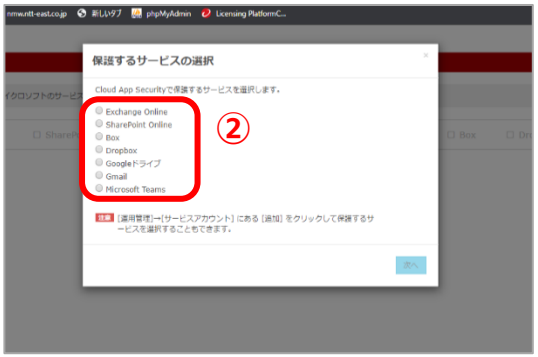
初期設定が完了すると、重大度のプルダウンから「**成功しました**」を選択すると上記画面のように対象サービスが表示されます。
※重大度「**保留**」ステータスに表示されている場合は、他のアプリケーションの連携は実施できないため、「**成功しました**」ステータスに表示されるまでお待ちください。

ステータスが「**保留**」のまま変わらない場合、何かしらの問題が発生している可能性があります。
一度画面を切り替えて確認します。
それでも「**保留**」の場合は時間を置いて、再度アクティベーションを実施します。

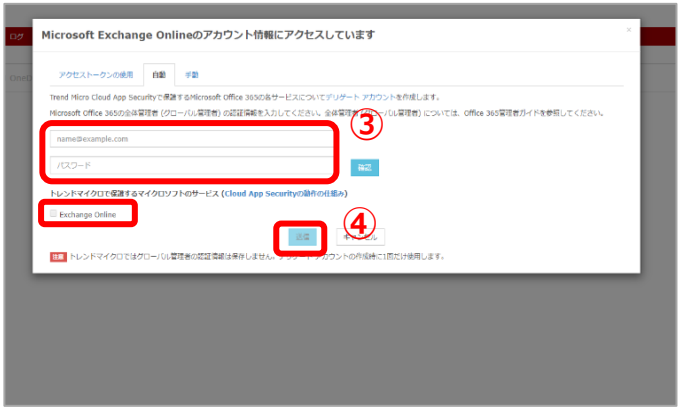
（参考）API連携　－初期ログイン時の対応（１）

※初回にコンソール画面よりログインした場合のみ、下記の画面に推移します。

①「**コンソールを開く**」を押下します。



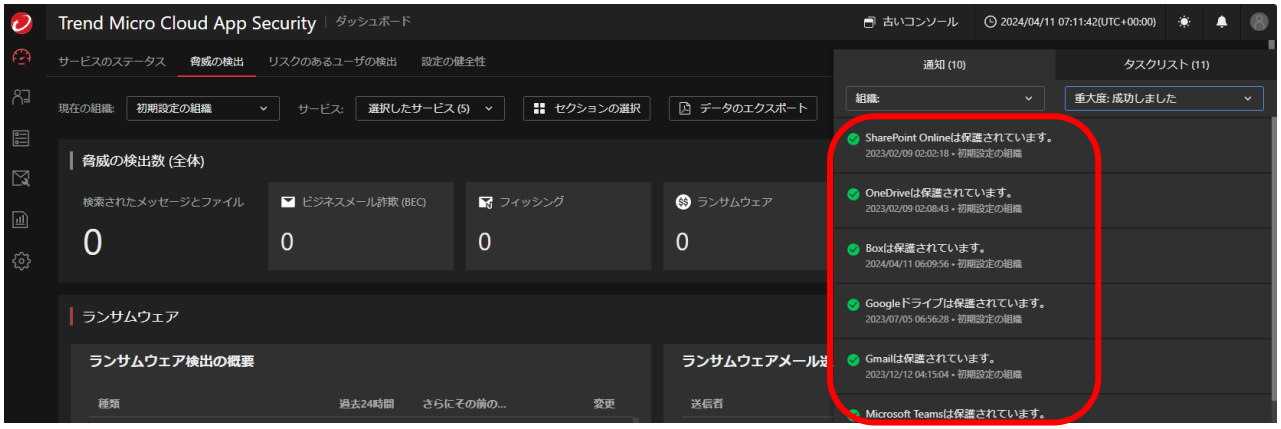
②保護するサービスを選択します。



③選択したサービスの管理者のメールアドレス及び管理者パスワードを入力します。

④「**送信**」をを押下します。

（参考）API連携　－初期ログイン時の対応（２）



「**通知**」にアクティベートしたサービスが表示されるので、内容を確認します。

（参考）Microsoft Information Protection(MIP)を利用されている方へのご対応

本項作業は**Microsoft Information Protection**(以降MIP)にてコンテンツの保護を行っているユーザー様のみご対応が必要となります。
※ご対応いただかない場合、おまかせクラウドアップセキュリティがファイルなどのアイテム検閲を行えず、正常に保護や検閲が行えなくなります。

手順①：MIPアカウントを追加する(MIP及びRMSの準備を行っていない初回対応のユーザー様)

以下サイトを参照しおまかせクラウドアップセキュリティに対する権限の付与をお願いいたします。

トレンドマイクロ社Onlineヘルプページ：
https://docs.trendmicro.com/ja-jp/enterprise/cloud-app-security-online-help/provisioning/provisioning-for-mic/using-an-account-for/provisioning-microso.aspx

手順②：RMSアカウントからMIPアカウントに移行する(管理者がRMSアカウントを準備済みのユーザー様)

以下サイトを参照しRMSからMIPへおまかせクラウドアップセキュリティに対する権限の変更をお願いいたします。

トレンドマイクロ社Onlineヘルプページ：
https://docs.trendmicro.com/ja-jp/enterprise/cloud-app-security-online-help/provisioning/provisioning-for-mic/using-an-account-for/migrating-to-a-micro.aspx

ポリシー設定手順：RMS及びMIPの連携を行った場合のポリシー追加設定(RMSまたはMIPの連携が完了したユーザー様)

以下サイトを参照しRMSからMIPに対するポリシーの設定をお願いいたします。

トレンドマイクロ社Onlineヘルプページ：
https://docs.trendmicro.com/ja-jp/enterprise/cloud-app-security-online-help/advanced-threat-prot_001/adding-atp-policies/general.aspx

商標について

- Microsoft、Microsoft 365、 Microsoft 365ロゴ、 OneDrive、Exchange、SharePoint、Teams、Office 365は、米国Microsoft Corporationの、米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Trend Micro Cloud App Security、 Cloud App Securityは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。